

# 一般質問通告書

No 1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

平成 29 年 5 月 16 日

議員番号 2 番

東村山市議会議長 様

質問者 島崎よう子

番号	質問の項目と要旨
1	<p><b>多磨全生園をまちづくりとして捉えよう</b></p> <p>石川県の「シェア金沢」を視察しました。</p> <p>国立療養所跡地を、児童入所施設を運営している社会福祉法佛子園が買い取り、「ごちゃまぜ」のまちを造りました。ごちゃまぜ(=social inclusion)というキーワードですべてをつないでいます。</p> <p><b>1 万 1000 坪に障がい児入所施設、サービス付き高齢者住宅、天然温泉、高齢者デイサービス、生活介護、訪問介護、児童発達支援センター、学童保育、障がい者就労支援継続 A・B 型、学生向け住宅、日用品生活雑貨共同売店、産前産後子育て応援、ボディケア&amp;からだ塾、ブータン・セレクトショップ、全天候型グラウンド、Publish Bar、レストラン、配食サービス、クリーニング&amp;コインランドリー、地域スポーツシステム研究所などなどがあります。たくさんある施設は高齢者や、障がい者、学生たちが働いている職場でもあります。学生たちは、家賃が安い代わりに、月 30 時間のボランティアが義務付けられています。「シェア金沢」には地域の方々が来たくなるような仕掛けが随所にありました。どこの職場にもいろいろな大人や子どもが散らばっていて、本当に「ごちゃまぜ」でつながっている世界を感じました。</b></p> <p>全生園こそ、「ごちゃまぜ」のまちづくりを進めるのにふさわしい、と直感しました。隔離されて来た入所者のみなさんは、全生園が、ごちゃまぜのまちになることを望んでおられるように思います。</p> <p>① NPO 法人生き生きまちづくりの中の部会、人権の森委員会の皆さん(私もそのメンバーですがあまり参加できていません)が、精力的に畑や花壇づくり、講座等に一般の方を巻き込もうとしていて全生園をまちづくりの一環として捉えています。入所者の方に寄り添う活動が果たす役割をどのように考</p>

	<p>えますか。</p> <p>② ハンセン病問題基本法(良好な生活環境の確保のための措置等)第12条について、所在地自治体としての役割をどのように考えていますか。</p> <p>③ 多磨全生園へは、障がい者施設を使えるように欲しいという声をあちこちから聞きます。実際、入所者自治会の皆さんとも協議しているようです。がこま切れに検討したものの全体像はどこで調整していくのでしょうか。</p> <p>④ 東村山市は、入所者のみなさまの意向を最大限に尊重して国都に働きかけるとの考えを示していて、もっともだと思えます。先の人権の森委員からは、入所者さんは、市はどんな将来像を持っているのだろうか、と話していると聞きます。別格扱いではなく入所者自治会の皆さんと共に練り上げる発想については、どう考えますか。</p> <p>⑤ 土方議員が、入所者の皆さんが望んでいる「人権の森委員会設置」を質問しましたが、その後の検討状況を伺います。</p> <p>⑥ 総括的に、国の責任としてやるべき論だけでなく、自治体として方針を持ち交渉していく姿勢、自治分権の考えを中心に、市長に見解を伺います。</p>
II	<p><b>補助金の見直しで、透明性ある税金の使われ方に期待</b></p> <p>東村山市の決算カードにおける補助費等は、H27年度は52億1632万円、歳出総額の10.2%となっている。当市では、第4次行財政大綱(H23～32年度)で補助金のあり方の見直しを掲げ、第3次実行プログラムにおいて、H29年度補助金見直しガイドライン(案)の策定を到達目標にしている。ので、検証が終わりガイドライン策定に取り掛かるころと思います。</p> <p>私は、1. 補助金の長期化による既得権化 2. 交付団体の自立の阻害 3. 補助金の適正な執行、の観点から見直すべきだと考え以下伺います。</p> <p>(1) これまでの補助金の見直し状況を以下の点からお訊ねしたい。年度は検証した時のもので構いません。以下、事業数、決算額、構成比率およびそれに関する見解を伺う。</p> <p>①個人に対するもの (経済的支援を行うもの、事業・活動を奨励するもの) 団体に対するもの (運営費を補助するもの、事業・活動を奨励するもの)</p> <p>②補助金創設から経過年数別(5年未満、5年～10年未満、10～15年未満、15～20年未満、20～25年未満、25～30年未満、35～40年未満、40年以上)</p>

	<p>③ 市単独補助について</p> <p>④ 総務費、民生費など款別ごとに</p> <p>⑤ 上記以外に検討項目で影響があるものがあれば示してください。</p> <p>(2) 見直し除外項目はあったのか。</p> <p>(3) 全庁的に補助金の必要性、効果を検証した結果はどうであったか。また、市民協働での補助金の仕組みについては、どう検証したか。</p> <p>(4) ガイドライン案の検討はどこが担うのか。</p> <p>(5) ガイドラインに、交付根拠や基準の明確化、第三者機関による審査、等々柱となるものを伺う。</p> <p>(6) 総括的に市長に伺う。</p>
<p>Ⅲ</p>	<p>一石二鳥のフードバンクを支援しよう</p> <p>昨年3月に一般質問で、「食品ロス」を出さない取り組みと、「フードドライブ」の検討をお願いしました。その後、奥谷議員が質問しています。28日夢ハウスまつりで、「フードドライブ」が実行されたと思います。</p> <p>① フードドライブの実行に至る段取りについて伺う。</p> <p>② 当日の食品の集まり具合、食品ロスとして換算するとどのくらいの量になるか。また課題などがあれば聞かせてください。</p> <p>③ 集まった食品がどのような流れで、食に困っている方に届けられていくのか経路について説明してください。また、個人や市内福祉施設は何か所が活用しているのか、状況を伺いたい。</p> <p>④ 今後に向けてリサイクルフェアの際など計画はあるか。定期的に取り組んで載きたいがどう検討しているか。</p> <p>⑤ 12月議会では、生活困窮者自立支援窓口ほっとシテイがNPO法人セカンドハーベストジャパンから食に困っている方に、既にH27年度より食糧支援をしていると知り驚きました。対象者、人数など詳細を伺います。</p> <p>⑥ フードバンク山梨の米山恵子理事長のお話を聞いた。山梨では、明日食べるものがない方へ繋ぐこともおこなっているが、当市で取り組む検討の考えはあるか。</p> <p>⑦ 教育の場で、子ども自身が食事の支度をできるように「生きる力」をつけさせる必要があると思う。現在、どのような授業学習があるか。</p> <p>⑧ 多部連携推進、この件はどこが音頭をとっていくのか。</p>